

# 令和8年第1回栗山町立小中学校再編準備委員会の開催について

## 議事録

令和8年5月26日（火）18:00～18:50

栗山町総合福祉センター 大ホール

- 出席者 検討委員 11名 ※欠席者 5名  
事務局員 5名 ※教育長（挨拶まで）、学校教育課課長、  
学校教育課学校再編室室長、学校教育課学校再編室主査、  
学校教育課学校再編室主事

○傍聴者 0名

進行：事務局

### 1 開 会

### 2 委嘱状交付

- ・ 出席委員 11名に教育長より委嘱状を交付

### 3 あいさつ 栗山町教育委員会 教育長

- ・ 各学校へ訪問と、机や椅子の整理が始まり、1つひとつの決裁が上がってくるごとに、いよいよ再編が近づいてきたと感じています。各学校では、地域の方やPTAの方々と「3月に向けてどのようなことをすべきか」という話し合いが進められていると思います。本日の資料を見て、具体的な話し合いが進められていることを確認いたしました。
- ・ 本日の報告事項は4点あり、その後、今後のスケジュール等について協議があると伺っています。教育委員会としても、地域ごとに様々な事情があることは認識しております。私自身も過去に統廃合を経験しておりますが、地域ごとに異なる課題が生じます。そのため、作業を進めながら修正・改善し、前に進めていくことが必要になります。
- ・ その際、否定的な議論に終始するのではなく、「こうすればもっと良くなるのではないか」という前向きな意見交換で進めていければ、その雰囲気は子どもたちにも自然と伝わっていくと思っております。
- ・ 先日、合同遠足の各会場を見学させていただきました。3校の先生方が工夫を凝らし、子どもたちの中に入って頑張っている姿を拝見しました。怪我をした子どもに、

- 別の学校の先生が手当てをしている場面もあり、大変良い雰囲気だと感じました。
- ・ 子どもたちの感想も読ませていただき、1つひとつの行事を通して意識を形にし、子どもたちの雰囲気を高めていくことが、統廃合後の保護者の皆様の安心感にも繋がっていくと思います。「4月からスタートする」のではなく、すでにスタートしているという形で進められていると感じています。
  - ・ 教育委員会としても、「決まったことに対して前向きに進めていこう」という栗山町の姿勢を大変嬉しく思っております。皆様への感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

#### 4 委員長・副委員長選任

委員長 土谷委員

副委員長 奈良崎委員、川元委員、長崎委員

進行：委員長

#### 5 経過報告

##### 1) 統合に関するご質問・ご相談フォームの開設について

資料1

[事務局]

- ・ 前回委員会におきましてフォームの記載内容について「文言をより簡潔にし、誰にでも分かりやすい表現に改めるべき」と貴重なご意見をいただきました。事務局におきまして、項目5のQ3について保護者の皆さまがより選択しやすいよう設問内容を見直しております。
- ・ 本フォームの目的は、学校統合に関する不安や疑問、要望等を随時受け付け、当委員会での協議事項の参考とさせていただくほか、今後の検討に活かすために開設したものであります。
- ・ 次に案内の時期ですが、4/8に小学生保護者を対象に連絡アプリ「tetoru」を活用し、フォーム案内を配信しました。また前日の4/7に町ホームページに「統合に関するご意見・ご相談フォーム」を公開しました。
- ・ 導線の確保として、保護者にはtetoruで配信し、令和9年入学予定保護者へは文書での郵送を4/7に送付し取組内容の周知を図りました。保護者にインターネット経由で気軽にご回答をいただける環境を整えることで、心理的ハードルを下げ、率直な意見をいただきやすいよう努めました。いただいたご意見の中で「回答」を希望される方に対しては、原則として1週間以内に事務局より真摯に回答を行っております。
- ・ 続きまして、5月21日時点における回答状況をご報告致します。現在の回答件数は7件となっております。学校別では栗山小学校が最も多く、学年別では幅広く分

散しているものの、4年生保護者からの回答が最多という状況でございます。

- ・ 複数回答が可能な設問におきましては、「通学・通学時間・通学手段について」が最も多く、やはり通学に関する事項への関心が高いことがうかがえます。
- ・ 具体的には、通学時間やバスの運行体制、学校施設への不安、学習環境への配慮といったご意見をいただいております。ここで、学校施設（特にトイレ）への対応について、先日の町懇談会において町長からもお話がありました通り、学校施設の耐力度調査を実施する方向で進めており、現在6月補正予算において必要な経費を要望しております。
- ・ 一方で、統合に対して期待を寄せる前向きなご意見もいただいております、地域における関心の高さを実感しているところです。
- ・ 今後につきましては、町広報誌6月号にも本件を掲載し、改めて周知を行います。引き続き保護者の皆さまの不安や要望を丁寧に把握しながら、適切な情報提供に努めてまいります。なお、現時点で特に不安の声が大きい通学面につきましては、後ほどスクールバスの項目にてお話いたします。

## 2) 閉校記念行事検討委員会進捗について

- ・ 二つ目の項目「閉校記念事業検討会について」ご説明いたします。各学校で閉校に向けた記念事業の検討を進めていただくにあたり、まずはその活動を支える財政支援についてでございます。
- ・ この度、閉校記念事業を支援するため、6月補正予算において閉校事業支援交付金を要望いたします。内容としては、閉校となる角田小学校、継立小学校の各校100万円を要望するもので、各学校のPTAや同窓会などで構成される協賛会が主体となって実施する記念事業を支援するものです。
- ・ 現在両校の協賛会を中心に検討されている事業内容をご説明いたします。まず角田小学校における検討内容についてご説明いたします。
- ・ 一つ目は児童生徒が主導となって学校内を案内する角小祭（仮称）を予定しています。保護者、地域の人に思い出を作っていただき、感謝を伝えるとともに低学年の児童にとっても「角田小学校は楽しいところだった」と心に残るような内容を企画しています。時期については現在調整中です。
- ・ 二つ目は閉校記念式典のオープニングにおいてドローンショー実施を予定しており、閉校という大きな節目を地域全体で共有し、心に刻む記念事業といたします。
- ・ 最後に記念品として校歌を収録したオルゴールの贈呈です。長年親しまれてきた校歌を形として残すことで、学校での思い出を振り返ることができるような記念品として活用する予定です。以上が現時点で角田小学校閉校事業協賛会において検討されている主な事業内容です。今後詳細については協賛会を中心に調整が進められる予定です。
- ・ 続いて、継立小学校の閉校記念事業の検討内容でございます。

- ・ 一つ目は北海道日本ハムファイターズの観戦事業です。学校生活では得難い体験を通じて、児童の心に残る特別な機会をつくることを目的としています。児童同士や教職員との交流を深め、閉校前の素晴らしい思い出作りとなるよう検討を進めています。
- ・ 二つ目は気球体験です。日常では味わえない貴重な体験を通じ、学校や地域を上空から見つめることで新たな視点から地域や学校への愛着を深めることを目的としております。
- ・ 最後に記念品として校歌を収録したオルゴールの贈呈です。角田小学校と同様に、長年親しまれてきた校歌を形として残し、学校生活を振り返るきっかけとなる記念品として活用する予定です。以上が現時点で継立小学校閉校事業協賛会において検討されている主な事業内容です。今後については角田小学校と同様、協賛会を中心に調整を進めていく予定です。両校ともそれぞれの地域性や学校の特色を生かした閉校記念事業を検討いただいております。

### 3) 閉校記念式典及び閉校式の日程について

- ・ 三つ目の項目、閉校記念式典及び閉校式の日程についてご案内いたします。
- ・ まず、閉校記念式典につきましては、11月20日(金)開催を予定しております。時間帯は、午前中に継立小学校、午後に角田小学校を予定しており、会場は各学校の体育館となります。
- ・ 対象は児童生徒、保護者、地域住民の皆さまを想定しており、多くの方にご参列いただける式典となるよう計画しております。閉校式については令和9年3月下旬に関係者を対象として、校旗返納など行う式として実施いたします。
- ・ 閉校記念式典の日程につきましては、町広報誌8月号に掲載し、日程案内と合わせて協賛会への寄附金のお願いを行う予定です。それと同時に町ホームページにも掲載し、広く地域の皆さまへ周知してまいります。学校のみならず、地域にとっても大きな節目となる行事であるため、お盆時期の帰省にタイミングに合わせ8月号での掲載といたしました。

### 4) スクールバス・備品について

- ・ 最後の項目となります、スクールバスおよび備品についてご説明いたします。まず、スクールバス関係についてでございます。先ほどの相談フォームでも最も多くの意見が寄せられた通り、通学方法や通学時間は保護者の皆さまの関心が非常に高い項目でございます。
- ・ 運行ルートや停留所などの運行内容の策定スケジュールにつきまして、例年は年初にスクールバス検討委員会を開催し、協議を経て3月に保護者へ案内を行ってまいりました。しかしながら、今年度につきましては保護者の皆さまの不安を早期に解消するため、大幅にスケジュールを前倒しして進めてまいります。
- ・ 6月に検討委員会を開催し、運行ルートの「素案」を提示いたします。

- ・ 7月～8月にバス会社、および町営バスを所管する建設課との実務協議を実施いたします。
- ・ 9月頃に協議結果を基に修正した内容で、第2回検討委員会を開催し、了承をいただきます。
- ・ 10月～11月にバスによる「試走」、および冬期の課題を確認するための「現地確認」を実施いたします。
- ・ 12月～1月に学校および保護者の皆さまへ「運行ルート（仮案）」をご案内いたします。
- ・ 2月に課題や問題点があれば修正を行うため、第3回検討委員会を開催いたします。
- ・ 3月に最終決定・最終案内（確定）といたします。
- ・ 3月に確定としているのは、直前の児童の転居等に伴う利用状況の変化に柔軟に対応するためのものがございます。
- ・ 次に車両購入についてでございます。運転手を含め定員50名のスクールバスの導入を予定しております。スケジュールとしては8月に入札し仮契約、9月に町議会において議決をいただいた後、正式契約を結ぶ運びでございます。令和9年3月末までに納品し4月運行開始を予定しております。
- ・ 現在スクールバスは5ルートで運行をしていますが、今後は課外学習等に必要な臨時バスの運行や、下校便を小学校と中学校に分けて運行できる6ルート体制の確立を目指してまいります。
- ・ 通学環境は不安を感じやすい部分でありますので、今後も丁寧に情報提供を行い、安心して通学できる体制づくりを進めてまいります。
- ・ 続きまして学校備品の整理についてご説明いたします。学校統合に伴う備品の移動・整理につきましては、受入先となる栗山小学校の既存備品を撤去するため、現在6月補正予算において必要な経費を要望してございます。
- ・ 予算が承認された場合の、今後のスケジュールと整理の流れについてご説明いたします。
- ・ 夏休み期間中に栗山小学校および栗山中学校の職員が角田小学校・継立小学校を訪問し、必要な備品の抽出を行います。その際、小学校を第一候補、中学校を第二候補と位置づけ、9月頃までに一覧表として集約します。また、これと並行して栗山小学校内の不要備品の廃棄を夏休み中に実施します。
- ・ 9月に作成した一覧表に基づき、備品移動に必要な経費を12月補正予算において予算化します。
- ・ 予算成立後、3月の春休みを利用して両校からの備品移動を実施します。
- ・ 令和9年4月に新任の教職員が着任された後、再度必要な備品を微調整・移動し、学校としての備品移動は完了となります。
- ・ 学校で不必要となった備品について、まずは5月頃を目途に他の公共施設での活用

の有無を確認し、あれば5月中に移動します。その後、町民の皆さまを対象に譲渡等の希望確認を行います。

- ・ 令和9年夏頃に最終的に残った備品を処分し、一連の備品整理を終了する流れとなります。以上で説明を終了いたします。

## 7 質疑応答

[委員]

- ・ スクールバスに関してですが、「小学校が閉校になり、通っている児童は全員がバスに乗れる」といった決定事項は皆様に展開できないのでしょうか。また全員バスに乗車できると確定しているのでしょうか

[事務局]

- ・ 角田小学校および継立小学校の児童につきましては、現時点では全員が乗車して栗山小学校へ通学できる形で運行をさせていただきます。

[委員]

- ・ まだ周知されていません。「それが大前提としてある」という形で進めないと、保護者を取り残された気持ちになります。決まっていることは教えていただきたいです。

[事務局]

- ・ 停留所の場所などは確定しておりませんが、角田小学校と継立小学校の児童はスクールバスに乗って栗山小学校へ通学できる旨はご案内させていただきます。

[委員]

- ・ スクールバスの乗車時間は最長何分以内といった基準はあるのでしょうか

[事務局]

- ・ 国の目安である1時間以内を基準に進めさせていただいています。

[委員]

- ・ 近い地区から遠い地区へ走るとずっとバスの中に乗ることになり、時間がかかってしまいます。またスクールバスに乗らないという選択もできるのか教えてください。

[事務局]

- ・ 現在の想定では、遠い地区から順に栗山小学校・栗山中学校へ向かう流れとなります。そのため近い地区から遠い地区へいくことは想定していません。また乗車の選択は、12月～1月に保護者の方へご案内させていただきます。そこで「乗らない」というお声をいただいてから運行ルート名簿から外す形になります。現時点では、対象者全員が乗車する前提でルートを作成致します。

[委員]

- ・ 先程のスケジュールでバスの納車は間に合うのでしょうか

[事務局]

- ・ 現在入札等の準備を進めておりますが、メーカーからは半年程度の納期で間に合うと伺っております。

[委員]

- ・ スクールバスの運行中に、急にお腹が痛くなるなどトイレに行きたくなる児童が出た場合、運行時間中のトイレ休憩などの対応はどうなりますか

[事務局]

- ・ 運行時間があるためトイレ休憩などをあらかじめ設定はしていません。実態としては近くに公共施設がありどうしても我慢できないようであれば、そこに連れて行く形となるかと思えます。ただ学校が近ければそのまま我慢してもらうなど、臨機応変な対応になると考えております。バス会社ともコミュニケーションを取りながら、今後の協議事項とさせていただきます。

[委員]

- ・ 記念品についてですが、オルゴールに決定しているのでしょうか。配布の対象は児童生徒だけなのかPTAも含めるのでしょうか

[副委員長]

- ・ 現時点では児童に向けてと考えています。関係者の範囲を広くすることは検討しておらず、協賛会などのメンバー程度に抑えようとしています。ただし、記念誌などについては協賛金をいただいた方への返礼品としてお渡しすることを考えております。

## 8 今後のスケジュールについて

- ・ 今後のスケジュールといたしましては、ただいま申し上げました「閉校記念事業」「スクールバスの運行策定」「備品整理」など、それぞれの取り組みを並行して進めながら、令和9年4月の統合に向けて万全の準備を整えてまいります。
- ・ なお、本日ご説明いたしましたスケジュールは現時点での予定であり、今後の検討状況や協議の進捗により変更となる場合がございますが、その際は当委員会の中で随時ご報告申し上げます。
- ・ 最後になりますが、次回の委員会につきましては、9月または10月頃の開催を予定しております。この時期の設定理由といたしましては、先ほど申し上げました「学校施設の耐力度調査」の結果が判明する時期であり、その調査結果を踏まえた上で、今後の具体的な施設整備の方向性なども含めて、委員の皆さまにお話しできると考えているためでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 9 その他について

[委員長]

- ・ 栗山小学校は受け入れ側となるため閉校式典等はありませんが、受け入れ側の気持ちとして、子どもたちも先生方も「角田・継立の子どもたちのために」を合言葉に

動いております。

- ・ 合同遠足も実施し、概ね「一緒にやれてよかった」「新しい友達ができた」という意見が多く、スタートとしては良かったと感じています。
- ・ 6月末には、角田・継立の子どもたちが栗山小学校に通う1日体験を予定しています。一緒に給食を食べたり帰りの会まで過ごし、大人数での勉強の雰囲気などを体験してもらう予定です。
- ・ その準備のため、3校の先生方がオンラインで会議を行うなど、オーバーワークになるほど真剣に取り組んでいるということをご理解いただきたいと思います。今年度は修学旅行や宿泊学習も合同で実施するなど、一緒に活動できる機会が多くありますので、受け入れ体制を整えていることをご理解いただきたいと思います。

[委員]

- ・ 個人的なことですが、継立小学校のオルゴールが欲しい場合、どうしたらもらえますか。協賛したらもらえるのか、記念誌やオルゴールなど、卒業生として思い出のお裾分けをいただけないかと思ひます。以前、継立中学校が閉校した際にも、校歌のCDかDVDがあったと記憶しています。

[副委員長]

- ・ そのようなご要望も含めて、一緒に検討していくことになります。

[委員長]

- ・ 角田小学校と継立小学校は時期が同じですので、そこはある程度合わせるなど、発注数がどうなのかや予算との絡みもありますので、そこも含めてご検討ください。

[委員]

- ・ 今日ここで話している内容は、公開していい内容なのでしょうか。親としては、先生方が忙しそうにしている一方で「何も進んでいないのではないか」「何も情報がこない、一体どうなるのか」という不安の方が大きいと思います。だから今日のようなスケジュールが示され、動いていることが分かれば、ある程度納得できる部分もあると思うのですが。

[事務局]

- ・ 本日の資料やスライド、スケジュールなどはすべてホームページに上げる形になります。今日お話しいただいた内容についても文章化して議事録としてホームページに載せさせていただきますので、個人的に他の方にお話しいただいても問題ありません。

[委員長]

- ・ 今の話もありましたので、PTAの会議の中や、同窓会の会議、閉校式典の会議の場

などでもそうした話題を出していただければと思います。

[委員]

- ・ この前、継立の育成会の会議があったのですが、今後、継立の育成会がどうなっていくかという地域の問題が出ています。今まで早退扱いになっていた地域のお祭り事などがあると思うのですが、今後はどのようにされるのでしょうか。

[委員長]

- ・ 今後は、祭りに学校が深く関与することはほとんどなくなります。例えば「継立のお祭りがあるので早退させるため、配慮をお願いします」ということはありえます。出席扱いにはできませんが、早退しても影響が少ないように、5時間目に算数などを入れず影響の少ない教科にする、といった配慮ぐらいまでは可能かと思います。

[委員]

- ・ 例えば傘踊りについてですが、今まで神社でやっていたものを、今後は栗山小学校に依頼する母体があるのかということも並行して考えています。それがそのまま栗山小学校に移行するという事にはならないですね。

[委員長]

- ・ 私の南幌や長沼での統合経験から申し上げますと、基本的に学校と地域というのは直接深い関係にはないのが一般的です。栗山町はかなり結びつきが強く、例えば教頭先生が育成会の事務局を務めるといったことは他の地域ではありえないことです。

[副委員長]

- ・ 運営を学校が行っていたが、母体を移さなければならない。保護者会にもどう残すかを確認しているが、厳しいと意見が多い。

[委員長]

- ・ 以前いた場所でも同じようなことがあったが、統合先に母体を移譲することはできません。地域として残したいという意思が大事であり、育成会や地域の人が守り、栗小にこういうところをお願いすることになるかと思います。

[委員]

- ・ 栗山小学校自体、傘踊りに関しては別に「傘踊りの会」が存在しており、希望者だけが行っています。角田のように放課後に毎日練習するといったことには、おそらくならないだろうと、傘踊りをやっていた保護者としては思っています。
- ・ それに伴っての質問ですが、先日、栗山小学校の運動会のプログラムが配られましたが、何年前に比べると競技が減っており、継立や角田でやっているようなりレーなどありませんでした。人数も多いので午前中で終わらせる形になり、伝統競技などを取り入れるのは難しいと思います。
- ・ ただ、これから栗山小学校に入ったら、継立や角田の親御さんは最初の大きな行事で戸惑うと思います。「こういう形でやっていますよ」という事前の説明会などは

あるのでしょうか。

[委員長]

- ・ 今年度、7月に角田小、継立小の保護者を集めて、栗山小学校としての学校説明会を実施する予定です。1つひとつの細かいこと全ては説明できませんが、「行事はこのように精選されている部分があります」といった、大々的な方針については説明する予定であります。

[委員]

- ・ 例えば、今までは全学年を最初から最後まで見られていたのが、自分の子どもの出番しか見られなくなるなど、「できないこと」への不満が後から出ないように、事前に「規模が大きくなるからこういう形になります」ということを丁寧に説明していただきたいです。

[委員長]

- ・ もちろん、大きな学校に入れば待機時間が長くなるといった制約は絶対に出てきます。そこにはメリットとデメリットが必ずあります。現在午後まで運動会をやるということは全国的な流れとしてもありませんので、そうした点も含めてご理解いただけるよう説明していきたいと考えております。
- ・ それでは、再編準備委員会を終わりたいと思います。お疲れ様でした。

## 5 閉 会

18:50 終了